

事業名	海洋スポーツ・冬季スポーツの推進	評価実施者	所 属 社会教育課スポーツ振興室 職・氏名 室 長 坪 田 健 一
-----	------------------	-------	--------------------------------------

事業の概要	開始年度	H6	根拠法令等	特定財源
	実施方法	☐ 直接 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担金 ☐ その他〔		

事業コスト	区 分	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	特 記 事 項
	事業費(A)						
	うち一般財源						
	人件費(B)						
	総コスト(A)+(B)	0	0	0	0	0 ※単位：千円	

実績と成果	区 分			単位	H16	H17	H18	H19	H20	左記以外の19年度の実績・成果 海洋センター利用者数は、全国2位で特A評価を受賞し、平成15年度からの5年連続受賞となった。 また、平成19年度は、年間の活動状況と障害を持つ人でもカヌーを楽しめることが新聞やテレビで取り上げられるなど、その成果が評価されて「2007B&G広報大賞」を受賞した。
	事業の実績 (アウトプット)	1								
		2								
		3								
	事業の成果 (アウトカム)	1	海洋センター利用者数	人	13,921	12,696	15,420	18,160		
		2	北電スロープ利用者数	人	—	6,457	7,426	6,986		
		3	スケートリンク利用者数	人	1,149	2,904	3,335	2,499		

評価項目	点数	判定及び説明・考察
1 適応性	6	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。 ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 ②事業を市が行う必要性があるか。 ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 周辺に海がない当市では、唯一の海洋性スポーツが体験できる施設である。利用状況は平成10年度から毎年1万人以上を維持し、主に市内外の小・中・高の学校体験学習で利用され、B&G財団などから高い評価を受けた。また、北海道の特色である冬期間スポーツとして北電スロープとスケートリンクについても、市内の子どもたちの冬の健康・体力づくりの場として利用された。
2 有効性	6	③事業の目的に照らして効果的な手法か。 ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 ④施策や運営方針等の目的の実現に寄与してるか。 ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 石狩川流域の池の前地区の自然を活用して、子どもたちにカヌーやヨットを通して感動体験を提供したほか、小学生から高校生までで組織する「滝川海洋クラブ」の活動として、開設期間延べ1174人が利用し、毎年多くの子どもたちが全道カヌー大会等に出場している。
3 目標達成度	8	⑤目標の水準は適切か。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ⑥計画通りに目標を達成できたか。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 市内外へのPRとして新聞・テレビ等に取り上げられ、前年度と比較して大幅な利用増加につながった。また、平成15年度から5年連続全国2位・特A評価と初の「2007B&G広報大賞」を受賞した。北電スロープとスケートリンクについては、小学1年生を対象にした教室で、スキーやスケートの体験する機会を提供したほか、小学生以下の子どもたちを対象に「スノーレク」を開催し、外での雪遊びを通して運動の楽しさを伝えた。
4 経済性効率性	7	⑦コストは縮減しているか。 ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 ⑧事務は効率的に行われているか。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 平成16年度で閉鎖した「空知太スキー場」に代わり開設した北電スロープは子どもたちのチューブやそり滑り、大人の歩くスキーなどで毎年6千人以上、またスケートリンクはフィギアスケート世界大会で日本人選手の活躍により平成17年度から2千人以上の子どもたちに利用されるなど、低コストでの事業推進に努めて利用増を図った。また、海洋センターはインストラクターの配置を市から指定管理者へ移行するなど、経費(人件費)縮減を図る準備を進めた。

総合評価	合計	27	ランク (A~E)	上記評価を踏まえた事業の課題	①利用料金の受益者相応額を検討。 ②開設期間の検討。 ③指定管理を行っている海洋センターは、指導者が市派遣職員のため、今後指定管理者での指導者育成を検討。(平成20年度は指定管理者で配置する予定) ☒ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピードアップ ☐ 検証 ☐ 現状維持
	↓ 100点換算	/32			
	84	B			

◎外部評価

評価項目	点数	判定	点検・評価に関するコメント
1 適応性	6	① ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 ② ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1	市民の利用増を考えながら進めてほしい。
2 有効性	6	③ ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 ④ ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1	
3 目標達成度	8	⑤ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ⑥ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	
4 経済性効率性	7	⑦ ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 ⑧ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	
		合計 27 ↓ 100点換算 /32 84 ランク B	

平成6年度～平成19年度 海洋センター利用状況表

年度	稼働日数	大会及び 行事参加者	教室 参加者	海洋クラブ	市内団体利用 件数	市内団体利用 利用者数	その他(市外)団体利用 件数	その他(市外)団体利用 利用者数	個人利用者(有料)	市内小中 土曜無料	その他	合 計
									小学生	中学生	高校生	
6	78	2,045	540			1,066	2	212	219		107	926
7	132	2,008	317			1,376	12	930	497		253	1,047
8	133	2,094	414			2,139	11	1,017	632		517	884
9	137	1,147	136			1,967	49	4,272	308		746	539
10	131	917	130			1,074	59	5,116	579		1,347	1,249
11	133	635	0			3,241	82	8,071	620		934	922
12	126	646	0			1,079	75	9,100	411		664	1,105
13	130	129	0	322	10	501	97	10,377	384		614	1,082
14	131	65	120	198	22	1,473	93	12,231	412	49	532	847
15	130	289	5	154	16	1,549	81	9,915	253	281	358	624
16	133	162	71	187	15	1,215	81	10,663	279	188	480	676
17	129	291	252	165	12	1,212	67	9,754	211	101	273	437
18	135	633	339	485	9	1,099	74	10,316	226	264	367	1,691
19	140	1,140	0	1,174	12	1,237	79	11,399	205	258	312	2,435

平成 6年度海洋センター利用者	5,115 人	平成17年度海洋センター利用者	12,696 人	(前年比	8. 8%減)
平成 7年度海洋センター利用者	6,428 人	平成18年度海洋センター利用者	15,420 人	(前年比	21. 4%増)
平成 8年度海洋センター利用者	7,697 人	平成19年度海洋センター利用者	18,160 人	(前年比	17. 8%増)
平成 9年度海洋センター利用者	9,115 人				
平成10年度海洋センター利用者	10,412 人				
平成11年度海洋センター利用者	14,423 人				
平成12年度海洋センター利用者	13,005 人				
平成13年度海洋センター利用者	13,409 人				
平成14年度海洋センター利用者	15,927 人				
平成15年度海洋センター利用者	13,428 人				
平成16年度海洋センター利用者	13,921 人				

滝川市B & G海洋センターの平成19年度活動評価が全国のセンターの中で最も高い「特A」評価を受け、5年連続受賞となりました。

また、障害者用カヌーの導入や年間の活動などが新聞やテレビで取り上げられた成果が評価され、新聞部門とテレビ部門でそれぞれ優秀賞を受賞し、さらに初の「2007 B & G広報大賞」を受賞しました。

《参考》

○活動評価項目

1. 海洋センター利用者人数
2. 海洋センターの指導員配置状況
3. 地域海洋センター責任者会議への出席状況
4. 財団新規事業に対する協力
5. 財団事業の活用状況
6. インターネットの整備
7. 広報の取り組み
8. 海洋クラブ・総合型地域スポーツクラブの状況
9. 書類の提出状況
10. 大会・教室の実施状況

○広報大賞評価項目

1. テレビ、新聞、地域広報、ホームページの4部門の広報活動で優秀賞評価された中から選ばれる。
H19年度は、滝川市B & G海洋センターがテレビ部門と新聞部門の2つで優秀賞を獲得し、特にテレビ部門では、昨年8月にUHBで放送された番組で、障害を持つ人と一緒にカヌーを楽しめる安全性をアピールしたことが評価された。